

<20代～50代の全国のビジネスパーソン 1,200人対象 「地方への転職」に関する調査>

**もうすぐ夏休み！休みが取りやすい8月は、「大人インターン」のチャンス！？**

**ミレニアル世代の約4割が地方への転職に興味があることが判明！**

**一方で、UIターン転職者の受け入れ対策をしている企業は1割以下に！**

総合人材サービス、パーソルグループのパーソルキャリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：峯尾太郎）が運営する転職サービス「doda（デュード）」< <https://doda.jp/> >は、20代～50代の全国のビジネスパーソン1,200人を対象に「地方への転職」についての調査を行いましたので、結果をお知らせいたします。

政府は地方創生によって地方の少子高齢化に歯止めをかけ、人口減少と経済縮小を克服し、日本経済全体の成長力を確保することを目指しています。本社機能を地方に移転することの後押しや、地方への転職や起業をした個人に対して助成金を出すことにより、地方活性化を促進しています。一方で、地方から東京都への流入人数は、流出人数を年間で10万人以上上回り、東京一極集中の流れは変わらず、地方への移住や転職はあまり進んでいません。

今回の調査から、東京都で働くミレニアル世代（20代～30代）の約4割が、地方への転職に興味がある反面、不安も多いことが明らかになりました。これは、個人が不安を抱えていることが、地方への転職が進まない要因の一つになっていると考えられます。本結果を受けて「doda」では、8月8日（木）から8月10日（土）までの3日間、個人の地方への転職に対する不安と、地方企業のUIターン転職希望者受け入れに対する不安の軽減を目的に、東京のミレニアル世代が地方企業へ短期留学する『doda 地方転職超短期留学』を開催いたします。

#### 【 主な調査結果 】

##### ① 東京都在住のミレニアル世代の約4割が地方への転職に興味あり！一方で、交通の便を懸念する声も多数。

- ・ミレニアル世代（20代～30代）の**約4割（38.6%）**が、**地方への転職に興味がある**と回答。  
特に**東京都出身の20代男性の2人に1人**は地方への転職に興味があることが判明。
- ・興味がある理由としては、「生活費が安い」「満員電車に乗ることが減るため」が上位の結果に。
- ・地方へ転職することで、約半数の人が「**交通の便**」に**不安を感じている**。
- ・「**地方の慣習や人づきあいに馴染めるか**」を妥協できると答えた人は**1割以下（4.5%）**に留まり、最も低く、地方への転職に興味のあるミレニアル世代も地方の生活に馴染めるかを気にしている。

##### ② 自身の勤務先がUIターン転職者の受け入れ対策をしていると回答した人は、1割以下に留まる！

- ・**自身の勤務先がUIターン転職者を受け入れるための工夫を行っている**と回答した人は、**1割以下（6.5%）**に。
- ・地方の企業に勤務している**約6割（59.9%）**の人が**人手不足を感じている**と判明。
- ・自分の地方への転職を勧める理由としては「生活費が安い」「働き口が豊富にある」。

■東京都在住のミレニアル世代の約4割が地方への転職に興味あり！一方で、交通の便を懸念する声も多数。

ミレニアル世代（20代～30代）の男女の約4割（38.6%）が地方への転職に興味関心があると回答しました。特に、東京都出身で東京都在住の男性の2人に1人が地方への転職に興味があると回答。（グラフ1参照）若い世代は、地方で働くことに興味を持っている人が多いことがうかがえます。

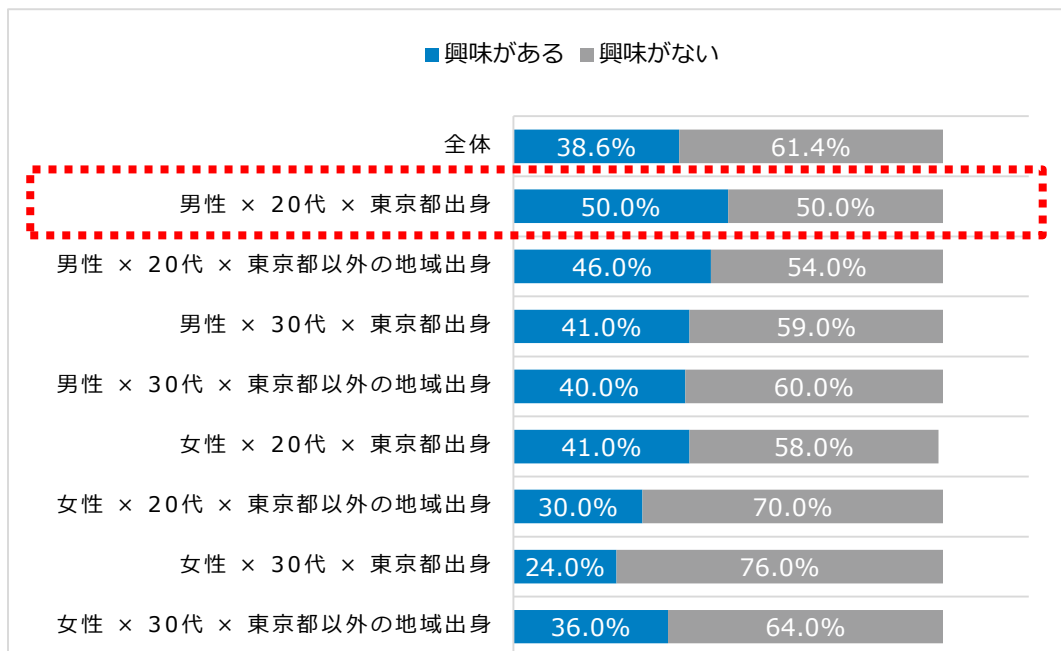
地方への転職に興味がある理由としては、「生活費が安い」「満員電車に乗ることが減るため」という声が多くありました。（グラフ2参照）

一方で地方へ転職することの不安は、「交通の便」「給与・待遇」「友人・知人が少ない」「娯楽が少ない」「仕事内容」など、日常生活に関係が深い回答が上位にあがりました。（グラフ3参照）また、最も妥協できないことは「地方の慣習や人づきあいに馴染めるか」という結果でした。（グラフ4参照）

このことから、ミレニアル世代の間でも地方への転職に関する興味関心は広がっているものの、生活や地域の慣習、人との関わりに不安を感じていることが分かりました。

【グラフ 1】 地方への転職に興味・関心はありますか。

※20代～30代 東京都在住の男女(N=800)



【グラフ 2】 地方への転職に興味・関心がある理由

※地方への転職に興味・関心があると答えた

20代～30代(n=309)

順位	地方転職に興味・関心がある理由 上位10	%
1位	生活費が安い	60.2
2位	満員電車に乗ることが減るため	39.8
3位	自然豊かな土地で暮らせそう	39.2
4位	子育てがしやすい	30.4
5位	都会に疲れたため	28.2
6位	職住近接の環境を作りやすく、ワークライフバランスがとりやすそう	23.6
7位	働きたい企業・有名な企業があるから	18.8
8位	実家や家族・地元の友人が恋しい	13.3
9位	地方活性に関わる仕事がしたい	10.4
10位	介護のため	1.3

【グラフ3】 地方へ転職するとして、不安なこと

※地方への転職に興味・関心があると答えた  
20代~30代(n=309)

【グラフ4】 地方へ転職するとして、妥協できること

※地方への転職に興味・関心があると答えた  
20代~30代(n=309)

地方転職にあたり不安なこと 上位10		%	地方転職にあたり妥協できること 下位10		%
1位	交通の便（自身の観点）	49.5	1位	地方の慣習や人づきあいに馴染めるか（自身の観点）	4.5
2位	給料・待遇	44.3	2位	車の免許がない（自身の家族の観点）	5.8
3位	仕事内容	30.7	3位	家族と一緒に付いてきてくれるか	6.5
4位	友人・知人が少ない（自身の観点）	26.2	4位	子供の教育	6.5
5位	娯楽が少ない	25.9	5位	恋人と一緒に付いてきてくれるか、遠距離恋愛できるか	6.8
6位	地方の慣習や人づきあいに馴染めるか（自身の観点）	22.7	6位	仕事内容	8.4
7位	仕事の種類や求人数	19.7	7位	仕事の種類や求人数	8.7
8位	車の免許がない（自身の観点）	16.5	8位	友人・知人がいない（自身の家族の観点）	10.4
9位	交通の便（自身の家族の観点）	15.9	9位	給料・待遇	10.7
10位	娯楽が少ない（自身の家族の観点）	11.7	10位	公共インフラの費用	10.7

■自身の勤務先がUIターン転職者の受け入れ対策をしていると回答した人は、1割以下に留まる。

地方企業で働いている人で「勤務先企業では、地元以外の人を受け入れるための工夫や対策を行っている」と答えたのは1割以下（6.5%）に留まり、地方企業では、地方への転職を希望する人を受け入れる準備が整っていないことが分かりました。（グラフ5参照）

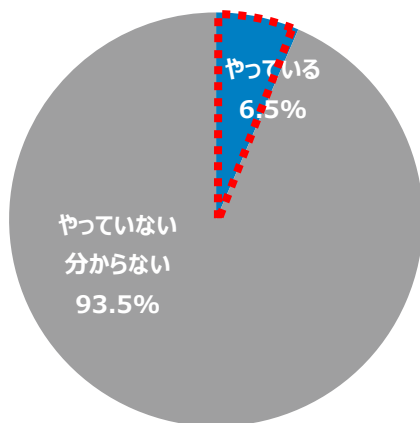
一方で、約6割（59.9%）の人が「勤務先企業で人手不足」だと思おうと回答。（グラフ6参照）また、自身の勤務エリアへ転職を勧める理由として、「生活費が安いこと」や「働き口が豊富にあること」が多くあげられました。

このことから、地方企業の人手不足感は強く、働き口も豊富にあるため、地方への転職希望者を受け入れる態勢を整え就業してもらうことが、地方企業の人手不足解消の一つの手段になると想定されます。

【グラフ5】 あなたのお勤め先では、UIターン転職者を

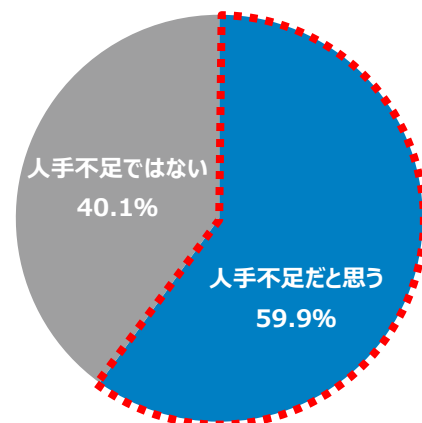
受け入れるための工夫を行っていますか。

※東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県以外に  
在住の20代~50代(n=402)



【グラフ6】 現在のお勤め先で、人手が不足していると思いますか。

※東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県以外に  
在住の20代~50代(n=402)



<調査概要>

- ・ 調査期間：2019年4月17日~22日
- ・ 調査対象：全国の20代~50代男女計1,200人
- ・ 調査方法：インターネットによるアンケート回答方式

## ■8月8日（木）から8月10日（土）に『doda 地方転職超短期留学』を実施！

今回の調査から、地方への転職に興味のあるミレニアル世代は、地方での生活に不安を抱えていることが分かりました。また、地方の企業ではUIターン転職者を受け入れる態勢が整っておらず、受け入れに不安があることも分かりました。それぞれの不安を払拭することで、地方への転職が活発化し、場所にとらわれない働き方や人手不足解消の実現につながると想定されます。

この結果を受け、8月8日（木）から8月10日（土）までの間、UIターン転職を希望する人の地方で働くことへの不安と、地方企業のUIターン転職者受け入れの不安の軽減を目的とした、『doda 地方転職超短期留学』を実施いたします。「doda」では、働く人たち一人ひとりが自分らしく生きていけるようなサポートをすることを目指しており、働く場所も自分で選択できる環境を作りたいと考え、企画いたしました。今回の『doda 地方転職超短期留学』では、地方の仕事や生活の体験を通して、UIターン転職を希望する人に、実際に地方で就業・生活するイメージを持っていただきます。

※取材希望の場合には、下記「doda PR事務局」までご連絡ください。

本施策のほかにも、当社は地方銀行と連携して地方企業の雇用・人材の課題解決をする取り組みや、地方移住・転職セミナーの開催などを行い、地方への転職や地方経済発展の支援をしています。今後も、2018年10月にリブランディングした新「doda」のコンセプトである「"はたらく"や転職のわからないに伝える」ため、さまざまな取り組みを行ってまいります。

### ■「doda」について < <https://doda.jp> >

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級のdoda転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。

### ■パーソルキャリア株式会社について < <https://www.persol-career.co.jp/> >

パーソルキャリア株式会社は、パーソルグループの「リクルーティングセグメント」中核会社として、転職サービス「doda」やアルバイト求人情報サービス「an」をはじめとした人材紹介、求人広告、新卒採用支援等のサービスを提供しています。2017年7月より、株式会社インテリジェンスからパーソルキャリア株式会社へ社名変更。グループの総力をあげて、労働・雇用の課題の解決を目指します。

### ■「PERSOL（パーソル）」について < <https://www.persol-group.co.jp/> >

パーソルは、2016年7月に誕生した新たなブランドです。ブランド名の由来は、「人は仕事を通じて成長し（PERSON）、社会の課題を解決していく（SOLUTION）」。はたらく人の成長を支援し、輝く未来を目指したいという想いが込められています。

パーソルグループは、人材派遣サービスの「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」やアルバイト求人情報サービス「an」をはじめとし、ITアウトソーシング、設計開発にいたるまで、国内外の幅広い企業群で構成されています。グループのビジョンである「人と組織の成長創造インフラへ」を実現するために、労働・雇用の課題の解決に総合的に取り組んでいます。